

No.5-2006

平成18年5月31日発行

5月例会を終えて



その知識をアウトプットする場」とおっしゃられていたことは、これからの委員会事業の大きなヒントになりました。

これからもいろいろなご相談や事業の報告などをするを約束して空港でお見送りをしました。翌日には「出会った皆さん方すべての方々が爽やかで、真摯で、感動しました。とても気持ちの良い仕事でした。」とメールを戴き、本当に嬉しかったです。この気持ちを味わえるのも例会にむけてたくさんの方々にご協力戴いたおかげだと思っております。心から感謝いたします。ありがとうございました。

青少年育成委員会
委員長 小野貴信

去る5月16日に秋田ビューホテルにおきまして「大人が子供たちにできること ~地域・学校・家庭の連携~」というテーマのもと、天理大学人間学部教授の今西幸蔵先生をお迎えして、地域の大人や、学校関係者、家庭での親の役割などについてご講演をして戴きました。



遠路はるばるお越し戴いた今西先生は、とても物腰が柔らかで、どのような質問や意見にも真摯に、そして丁寧にお答え下さる想像どおりの方でした。事前に講演内容をご相談してありましたが、それに対する綿密な資料も持参して下さり、オブザーバーで参加して戴いた方々にも大変好評でした。お話の中で、「子供は自分探しの旅をしている。だから大人は旅を支援してあげることが大事」と言われたことが印象に残っています。また、「学校は知識をインプットする場。地域は



「第1回HANAUTA倶楽部」開催



去る5月11日、ホテルアルファインにて「第1回HANAUTA倶楽部」が開催されました。

当日は、渡部理事長を始め18名のメンバーが3テーブルに分かれ、これからの「人間力開発プログラム」について活発にディスカッションし、我々人間力開発委員会メンバーにとって、今年度のプログラム実施に関して参考になる意見を多数戴きました。

この「HANAUTA倶楽部」というのは、秋田JCにおいて今年で5年目を迎えた「人間力開発」事業をさらに発展するべく設立されたクラブです。目的は、過去

4年間の場合はその年に配属になった委員会メンバーだけで各学校等で行ってきた「人間力開発プログラム」を、今年度から人間力開発委員会メンバー以外の方にも積極的に参加して戴こうというものです。

年々人間力プログラム受講希望者が多くなってきており、大学などでは100人単位になる場合も出てきている事は、秋田JCとしましては喜ばしい事であるのは間違いのないと思われます。しかし、どうしても現在10名の委員会メンバーだけでは対応に限界があり、我々今年度人間力開発委員会としましては、あと5回開催される「HANAUTA倶楽部」に一人でも多くの方に是非参加して戴きたいと思っております。

プログラム実施の際には、短時間ではありますがテーブルコーチとして地元の高校生、大学生、社会人の方達とナマの交流を図ってみる事は、今後このような世代と上司や部下の立場、あるいは親と子の立場としていずれ正面から向き合わなければならない宿命(?)を背負っている我々にとってプラスである事は間違いありません。この機会を良い予行演習と捉え、この「HANAUTA倶楽部」の「仲間」に入りませんか?もしかしたら予想外に楽しい事があるかもしれませんよ!

人間力開発委員会 藤井 政徳



日赤・婦人会館跡地利用意見交換会



渡部理事長に秋田県建設交通部都市計画課より、日赤・婦人会館跡地が再開発事業に着手するまでの土地利用を考えるにあたり、青年会議所の意見を伺いたいという依頼があり、連休明けの5月8日、ユーランドホテル八橋にて「日赤・婦人会館跡地利用意見交換会」

を開催いたしました。除雪ボランティアに続き急な依頼にもかかわらず20名のメンバーに参加戴きありがとうございました。2班に別れそれぞれ市民としての意見、青年会議所としての意見の2項目について話し合いました。大型スクリーンによる国体、サッカーなどのスポーツ放映案などこれはいけるのではという意見もあり、最終的に市民としては21案、青年会議所としては4案を提出させて戴きました。市民としての意見は白熱したくさん出ましたが、肝心の青年会議所としてはこれといった決め手の意見がなかったので参加者からも残念がる声が出ていました。5月12日に渡部理事長と長谷川副理事長で提言書を県に提出して戴きました。今後、もしかしたら!?活用方法についてオファーがあるかもしれませんのでその節はまた皆さんのお知恵を拝借したいと思います。

地域ネットワーク開発委員会 委員長 鈴木 充

美しき秋田の文化「竿燈まつり」 発展的継承と豊かな心を育もう



先人は、何のために「お祭りごと」を始めたのでしょうか。先祖を敬い、豊作祈願やねぶり流し、・無病息災・家内安全・商売繁盛・子宝・収穫の祝いなど、様々なことを祈願し祝う為だと考えられています。

竿燈まつりに於いても、宝暦年間（1751～63）にさかのぼり、豊作祈願と古くから伝わるねぶり流し行事が結びついたみそ禊ぎの行事であると言われております。

どの祭りを取り上げて、古くからの伝統の継承と日本人の持つこころ魂があったからこそ、今日まで受け継がれて来たのであろうと考えます。

現在の日本人に掛けていると思われる許容性豊かで利他の心溢れる日本古来の美しき精神性と近年の国際色豊かな考え方を、美しき秋田の文化「竿燈まつり」を通して、参加者・それを見る側・支える側が共に触れあい、感じる事が出来る場とする事が大切であります。

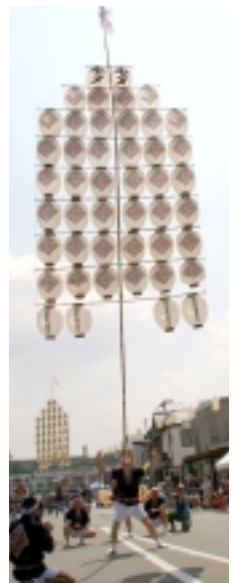
社団法人秋田青年会議所が「竿燈まつり」に携わるようになり本年で25年が経過しようとしております。これまで、多くの方々に支えて戴き、感動を憶え、様々な形でお世話になって参りました。携わった方々に改めて敬意を示すと共に、諸先輩達が築き上げたこの輝かしい伝統と多くの感動を更に発展させて、次世代へ継承する場と致します。

また、昨今の賑やかさを留めることなく、美しき秋田の文化「竿燈まつり」を通じて、今一度郷土のすばらしさを体験すると共に、人と人・心と心のコミュニケーションを図りながら、『あきたの魅力とその感動』を内外へ広げていくことと致します。

最後に祭りは危険を伴うものですが、ケガや事故が発生しないよう呉々も配慮すると共に、多くの方々が楽しく祭りに参加出来るものと致します。

以上が、本年度の秋田青年会議所竿燈会今年度の基本方針ですが、楽しく祭りに参加できるメンバーを常に募集しております。また、竿燈まつりに参加したことの無い方大歓迎です。一緒に2006年の夏を『美しき秋田の文化「竿燈まつり」』で楽しみましょう！

秋田青年会議所竿燈会
第八代目代表 青井 智



組織進化推進委員会オープン委員会Ⅰについて

去る5月22日にユースパルにおきまして、「組織進化推進委員会オープン委員会Ⅰ」を開催致しました。公益法人制度改革及び、次年度創立55周年を迎えるにあたり、より公益性を求められる当会議所がすべき活動は何なのかについて模索をしました。

今回のオープン委員会では、企業経営計画策定などでも使用される「SWOT分析」の手法を用い、現状の再確認から今後のビジョン案・事業案策定の基礎となる意見集約の場としました。

SWOT分析により当青年会議所の内部的な「強み」や「弱み」、外部的な「フォローの風」や「アゲインストの風」



について改めてメンバー各位が認識した事と思います。ちなみに各グループから出た掛け合わせの事業案を抜粋して書き出してみます。

「強み×フォローの風」・・・より広範囲での地域交流、他団体との交流事業、など。

「強み×アゲインストの風」・・・深夜パトロール事業、無医村医師派遣事業、など。

「弱み×フォローの風」・・・市町村合併による新規事業の創出、全国大会を利用した温度差の解消、など。

「弱み×アゲインストの風」では、個人でも参加できる組織の検討、中長期での段階的な事業計画、など。最後の各グループからの発表では、感嘆の声、笑い声が入り混じる中、「Jリーグのように、青年会議所のユース版「少年会議所」を作ってはどうか？」「ママさんJC会」は？そして京都會議ならぬ「秋田会議」を作っては？といった、ブレインストーミング特有の否定をしない意見の出し方も手伝って意見百出状態となりました。メンバー各位へのJCへの愛情が垣間見えた瞬間でもありました。

今回頂戴した多くの意見を基にし、今後の例会や次年度への提言へ結びつけていく予定です。月曜日というお忙しい日程にも関わらず、ご出席を戴きました各位へ御礼を申し上げます。組織進化推進委員会 副委員長 米澤弘晃

(社)常陸太田青年会議所創立35周年



5月13日(土) 姉妹JCである(社)常陸太田青年会議所の創立35周年記念式典が行われ、今川副理事長を団長に秋田JCメンバー精鋭13名で出席して

参りました。

記念式典では35年の歴史がビデオで紹介されましたが、その中で、姉妹JC締結25周年の際の竿燈を上げている様子が映し出された時、あらためて秋田JCと常陸太田JCのつながりの深さを感じた気がしま

した。また、常陸太田JC小又理事長がご挨拶の中で「地域に対して『誇り』を感じられるようこれからも活動を進めていきたい」と信念を述べられ共感するものを感じました。引き続き同会場で行われた懇親会、水戸市内に場所を移しての合同ナイトではお互いのメンバー同士が本当に懇親を深める事が出来ました。お忙しい中お見送りまでして戴き、常陸太田の皆さんには本当にたくさんのお心遣い、ご迷惑をお掛けいたしました。

最後に、今回の道のりは各乗用車で移動をしたのですが、参加者皆様のご協力により事故も無く無事行程を終えたことに感謝いたします。お疲れ様でした！

環境行動推進委員会 委員長 松本繁

趣味は雅楽！



趣味と言われても、ビールを飲むことくらいなのですが、28才のころから雅楽をはじめました。

「雅楽！何それ」と、言われそうですが、東儀秀樹さんとかがやっている音楽のことです。職業が神主ですから祭事で吹くこともあります。趣味が実益を兼ねるレベルには遙か程遠く、1200年以上歴史のある伝統音楽の奥の深さを強く痛感しているところです。雅楽の管楽器は、笙(しょう)・篳篥(ひちりき)・龍笛

(りゅうてき)の3種類あり、笙が「天から差し込む光」を、篳篥が「地上にこだまする人々の声」、龍笛が「天と地の間を縦横無尽に駆け巡る龍」を表しているとのこと。

私は龍笛 横笛 をやっています。下手なくせに地域の学校へ音楽の授業に演奏しになんかにも行っちゃったりもしました。先日も人前で披露する機会があるので練習していたら、かみさんに耳を塞がれて「マスオさんのバイオリンよりヒドイよ。」言われる始末・・・(泣)。

雅楽は和音の調べ、聴いていて心地良く、眠くなるくらいがベストといえる先生もいます。マスオさんのバイオリンと言いつつ家内を見返してやるべく、稽古に励みたいと思います。

青少年育成委員会 金山智秋

6月例会のご案内

平成18年6月14日(水)18:20より、陸上自衛隊秋田駐屯地内体育館にて6月例会を開催致します。

フットサルを通じて、会員相互の「友情」「絆」を深める機会にしたいと考えております。例年よりハードな競技での開催ですので、日頃運動不足なメンバーの方は、時間を見つけて体を動かしておく事をお勧めします。競技をする上で、欠かせないのがメンバーの出席です。出席率が向上しないと、三役、常任、委員長の方々にかかなりの負担となります。三役、常任、各委員長の負担を減らす為にも、より多くのメンバーの参加が必要です。

また、普段容易に入ることの出来ない施設での開催となっております、めったに体験できない雰囲気の中、良い思い出にもなると思いますので、多くのメンバーの参加をお待ちしております。きっと次の日には、心地よい筋肉痛が、貴方をお待ちしていることでしょう。

当日は、陸上自衛隊秋田駐屯地入り口にて『委員会名と氏名』をお伝えください。係の者が誘導致します。また室内用運動靴、汗ふき、飲み物等をご持参ください。

総務交流委員会 委員長 小松 貴

編集後記

待ちに待ったFIFAワールドカップの開幕が目前になりました。日本代表の活躍に期待すると同時に日本人がナショナルリズムを表に出す数少ない機会でもあります。

その源泉ともいえる出身校のスポーツでの活躍。春の高校野球県大会で初優勝！これが夏だったらと思うてしま

のは強豪校ではないことの悲しさです。

なにはともあれ、見ているだけじゃなく、体を動かさないとメタボリックシンドロームが怖いこのごろです。

情報戦略推進委員会 加藤 恒